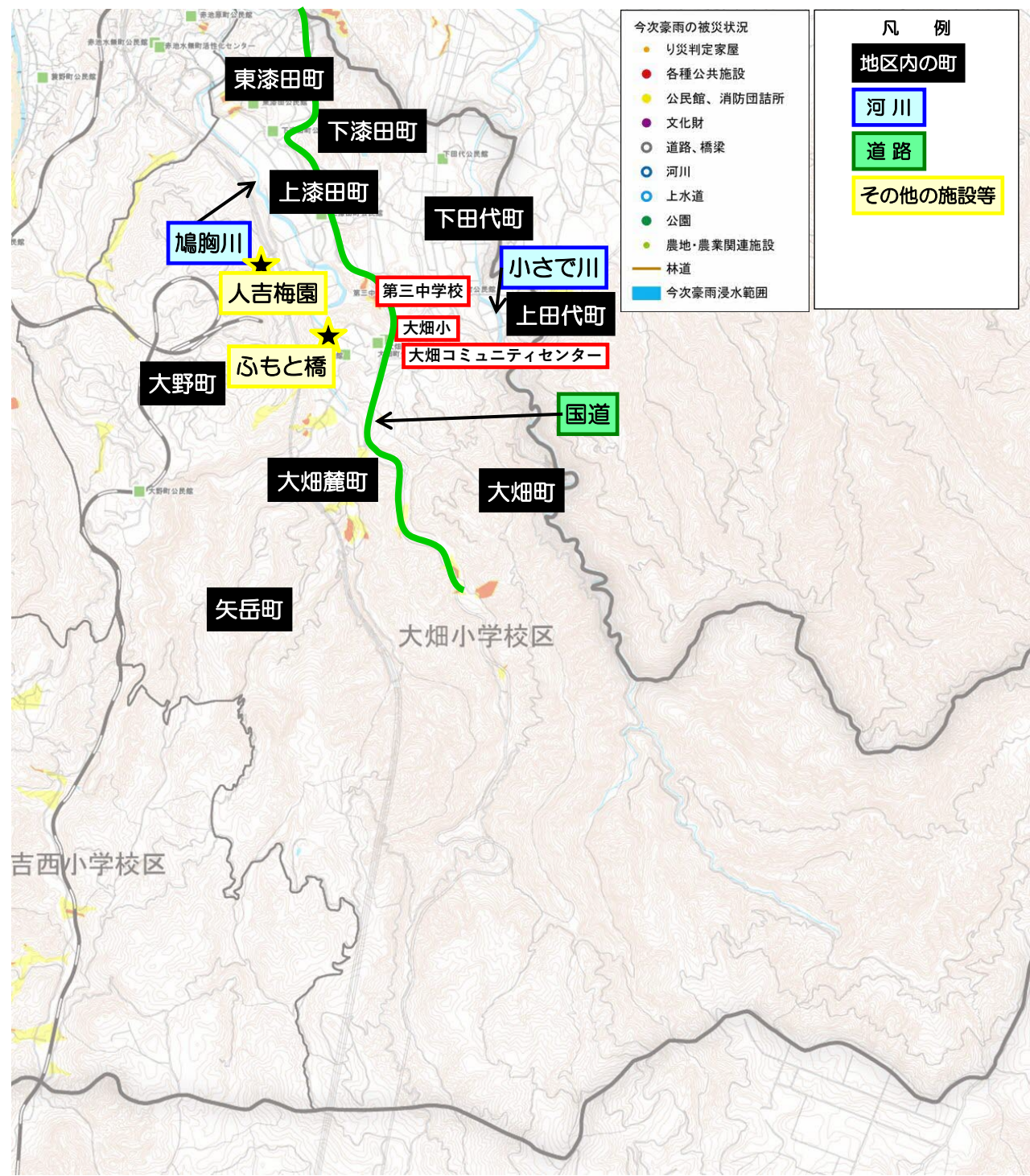


第2回 校區別座談会【3/22大畑校区】の意見まとめ

（上漆田町、下漆田町、東漆田町、上田代町、下田代町、大畑町、大畑町柴笠町、大畑麓町、大畑麓町小川内町、大野町、矢岳町）

※第2回校區別座談会における参加者による意見であり、決まった内容や事実確認をした内容ではありません。

令和2年7月豪雨による被災状況図



※出典：
・リ災判定家屋：リ災判定（令和3年2月上旬時点）
・各施設：庁内資料（被害報告）
・今次豪雨浸水範囲：八代河川国道事務所提供資料（球磨川本川のみ）

【重点地区（案）への意見】

- ・人吉市中心部が復興に興味関心ある。中心部が活性化しないと観光の町なので衰退していく。しっかり対策すべき。

項 目		大畑校区の主な課題や要望について
避難方法の見直し	避難所	・コロナ禍で避難所が密集するのが怖い。コミセンよりも体育館、あるいは小学校がよい。 ・三中と大畑小体育館を開放してほしい。（市の体制が課題） ※大畑小体育館屋根赤さびがあり危険。雨漏り。使えないなら解体する。 ・体育館内で事前に校区の割り付けなどしておく（市役所の負担が増に） また、プライバシー確保のため仕切りがあるとよい。 ・自主避難所として各地区の公民館を活用。床が古く避難所として活用できるよう改修費を助成してほしい。台風強風に耐えられるだけの構造にしてほしい。 ・ビル等へ避難する場合は所有者の了解を得なければいけない。
	要支援者対策	・認知症患者をかかえる家庭は、指定避難所には迷惑をかけるので行きたくないと言う。地元の公民館で受け入れできるような体制に。 ・校区社協や民生委員の主導で、独居老人を担当（1人につき3名）を決めて避難の面倒を見る。 ・一人暮らしの方には連絡は取れる。
	避難誘導	・避難指示出た段階で避難するよう各町内で決めている。 ・下田代町は避難しない方がいいということにした。今後は“共助”で避難するように。【下田代町】 ・（大雨時）大畑コミセンに避難しに行く方が危険だった。川が増水して通れない。落橋したところも。【大野町】 ・いざというときはお年寄りなど近くに避難する方が安心できる。 ・大畑校区は古い家が多いし危険性が高い。“防災ラジオ”の普及を。 →6月中旬に浸水したところから順番に設置予定 ・町内会長（3月で任期切れるのでそれ以降）、住民で避難や防災の研修を。できれば梅雨前に実施。 ・今後具体的な避難計画をたてる。地区別にどこにだれがどのように。 ・どこから水が増水するかわからないとダメ。 避難対象者を増やしていき、それが人吉市全域に波及していければ。大畑校区が避難の先進地になれば。 ・7月豪雨以後台風10号の時、避難意識が高まった（命をまず守る行動）
	道路等	・川から道路に冠水する箇所がある。川に土砂つまっているので定期的に撤去を。河床土砂堆積。【田代地区】 ・「ふもと橋」橋の架け替えはいつ？流木が引っかけると危険。 ・「梅園」のところは道が狭く、車が通れない。 ・「小さで川」用水路ヒューム管に土砂。次に大雨がきたらダメ。 ・県管理の河川の土砂掘削。
林道の復旧・整備	林道	・間伐用管理道・林道が危険な状態。土砂崩れの原因。 林道・斜面が崩れ、通行不可になる。 国有林地区、営林署と対策について相談
生業の再建	農地	・農地被害あり今年コメ作りができるかどうか不明 ・一反当たり3500円、用水費もらっているが、また大雨が降れば土砂が流れてくる。用水路の取り出し口の改良を。
土砂災害への対応		・林道の必要性や補強など営林署と相談。